

宇治田原町 議会だより

No. 82
2015.2.1



《目次》

- 臨時会2P
- 12月定例会.....3P
- 一般質問.....5P
- 研修報告.....15P
- インタビュー(小林哲也さん)17P

後期 議会構成決まる

第2回 臨時会

臨時会

委員会	職名	氏名
総務産業常任委員会	委員長	谷口重和
	副委員長	内田文夫
	委員	稲石義一
	委員	安本修
	委員	青山美義
	委員	上林昌三
文教厚生常任委員会	委員長	垣内秋弘
	副委員長	山内実貴子
	委員	今西久美子
	委員	奥村房雄
	委員	原田周一
	委員	田中修



議長
田中 修



副議長
稲石 義一



監査委員
青山 美義

平成26年11月17日・18日に第2回臨時会が開催され、後期議会人事の他、教育委員会委員の任命（人事関係）が審議された。

職名	氏名
京都地方税機構議会議員	今西久美子
城南衛生管理組合議会議員	山内実貴子
	原田周一
府後期高齢者医療広域連合議会議員	奥村房雄

人事案件

○教育委員会委員の任命同意

増田千秋氏



任期
平成26年11月26日～平成30年11月25日

【同意 全員賛成】

議会運営委員会

- 委員長 稲石 義一
- 副委員長 垣内 秋弘
- 委員 今西 久美子
- 委員 上林 昌三
- 委員 谷口 重和

広報編集委員会

- 委員長 山内 実貴子
- 副委員長 奥村 房雄
- 委員 内田 文夫
- 委員 青山 美義
- 委員 垣内 秋弘
- 委員 谷口 重和

補正予算特別委員会

一般会計の補正の主なものは

職員人件費 (2,793 万円)

道路法面防災対策費 (2,510 万円)

カーブミラー整備費 (700 万円) など、国保会計の補正については医療費の増加によるもの。

平成26年第4回定例会補正予算について

(千円以下切捨て)

会計予算		補正額	補正後の総額	議決	
一般会計		6,552 万円	43 億 2,495 万円	可決	全員賛成
特別会計	国保会計	1,391 万円	11 億 5,756 万円	可決	全員賛成
	介護保険会計	265 万円	7 億 3,618 万円	可決	全員賛成
	奥山田簡水会計	180 万円	5,859 万円	可決	全員賛成
	公共下水道会計	△ 93 万円	7 億 827 万円	可決	全員賛成
水道事業会計	収益	45 万円	2 億 5,474 万円	可決	全員賛成
	資本	131 万円	2 億 5,391 万円		

一般会計

【質問】

ミラーでしか安全確認ができない箇所のくもり止めミラーの整備について

【答弁】

予算成立後、速やかに対応を図る。

条例改正

【質問】

町特別職及び議員期末手当については、人事院勧告に準拠しない部分もあり、報酬等審議会に審議をしていただくべき。

【答弁】

今後においては協議いただくことも大切と考える。

12月定例会

平成26年第4回定例会は、12月8日から12月24日まで開催した。予算関係7件(補正6件、専決1件)、条例関係7件(制定1件、改正6件)、報告1件が提案され原案通り可決した。また、人事案件では公平委員会委員の選任について提案があり、全会一致で同意した。提出された請願は賛成少数で不採択となった。新庁舎にかかる調査・検討を行うため、全議員による新庁舎特別委員会が設置された。一般質問には9人の議員がたち、全員が「一問一答」方式で活発な議論を展開した。

人事案件

○公平委員会委員

浅田 昭 兵 氏



任期
平成26年12月22日～平成30年12月21日

【同意 全員賛成】

総務産業常任委員会

風致地区条例を制定

【質問】罰則規定について、他にも規定しているものがあるのか。

【答弁】「土採取条例」、「埋め立の盛土条例」等と同様に罰則を規定している。

消防団員等公務災害補償条例を改正

水道料金全面改訂として「水道事業給水条例の一部改正」

【質問】まだ高い状況があるが考えは。

【答弁】20mの基本料金がまだ高い状況については、今後においても経済状況、経営状況をj見る中進めていきたい。

浄化槽整備推進事業条例の一部を改正

【質問】財源不足分については、どのような対応とするのか。

【答弁】公共下水道を含めた汚水処理事業全体として捉えていただき、繰入金投入をご理解いただきたい。

【可決 全員賛成】

討論

賛成

稲石 義一議員
節水が報われ、使用水量に見合った水道料金の改定について、7割の階層のアップ率を低く抑えたこと、企業会計の収支均衡及び府内他都市との平準化を図った点において賛成。

討論

賛成

今西久美子議員
6年前から基本水量・料金の引き下げを求めてきた。今回の改訂で、節水が料金に反映されることとなるが、基本料金のさらなる引き下げと、住民への周知の徹底を求める。

文教厚生常任委員会

国民健康保険条例の一部を改正

出産育児一時金の引き上げに関する改正

・ 出産育児一時金基本額の引き上げ
39万円↓40.4万円

・ 産科医療保障掛金相当加算額の引き下げ
3万円↓1.6万円

【質問】産科医療保障掛金が引き下げられた理由については

【答弁】5年毎に見直しがされ、今回医療事故が減少する中、掛金に余剰ができてきていることから引き下げられたものであり、保障については従前と変わらないものである。

【可決 全員賛成】

少数意見

市町村教委の裁量で、教員配置ができるようになっていこうを踏まえ、努力するよう採択すべきである。以上のような質疑があり、慎重審査の結果、賛成少数で不採択とすべきものと決しました。ただし、請願事項については、実現に向けた協議も努力していくこととし、教育委員会に対して、本委員会として働きかけをして行くことの確認をした。

主な審査意見

実現の可能性の少ないものについては、採択しないことになっていることから検討する必要がある。また、今議会の一般質問において、請願趣旨に沿った町当局からの答弁があり、来年度の方向性が示されているとの意見が、多数あった

討論

賛成

安本 修議員
この請願には、保護者を中心に400名を越える署名が添えられ、審査された文厚委員会、「少人数学級の実現に向け努力する」と結論が出ており、不採択に当たらないのではないか。

一般質問

ズバリ! 町政を問う

12月11日 午前10時～



一般質問

議員が行政全般にわたって執行機関である町に対し、事務の執行状況や方針などを質問します。

主な内容について、各議員の要約原稿を掲載しています。

	質問者	件名
1	今西久美子	1. 教育問題について 2. 子どもの遊び場について
2	垣内 秋弘	1. 平成27年度の予算編成について 2. 教育問題について 3. ゴミの分別収集について
3	山内実貴子	1. 子育て支援について 2. 高校生のバス通学等の補助について 3. 防災、減災対策
4	谷口 重和	1. 介護保険施設の整備 2. 災害復旧 3. 商工業の補助対策

	質問者	件名
5	上林 昌三	1. 環境施策について
6	奥村 房雄	1. 宇治田原山手線（緑苑坂以北）について
7	原田 周一	1. 教育問題 2. 避難路対策
8	安本 修	1. 交通安全対策
9	稲石 義一	1. 予算編成方針について 2. 山手線築造事業について 3. 少子化対策について 4. 健康長寿対策について

傍聴のご案内

宇治田原町議会の本会議を傍聴しませんか。傍聴のためには本会議当日に町役場2階総務課で受付をしていただきます。議会の日程などはホームページ(<http://www.town.ujitawara.kyoto.jp/>)をご覧ください。議会事務局（☎88-6641）までお問い合わせください。

少人数数学級の実施を

【答】小学校では少人数数学級を考えている

【質問】

子どもの数が減少し、今後小学校では1学年1学級となる可能性が大きいが、来年度の見通しと教育委員会の考えは。

【答 弁 (教育長)】
本年度、田原小学校の3・4年生において、京都式少人数教育により、

40人以下でも2クラスと

している。今後も、少人数で理解度に応じたきめ細かな指導や課題に即した個別指導等、適切な学級運営に努めるため、小学校では少人数学級が引き続き導入できるようにしていく。中学校においては、小学校とちがいで、

教科担任制をとっているため、単に学級を増やすことは、教職員への対応などもあり、難しい。

【質問】

政府は小2から中3までを順次35人学級としていくとしているが、現在小学校1年生だけでとどまっている。35人学級の推進は、法にもとづく執行をすべき政府の責務。国に対し、中3までの実施を求めよ。

【答 弁 (教育長)】

国の制度が小・中学校全学年で35人以下の学級になるよう、要望していきたい。



今西久美子
議員

子どもの遊び場の確保を

【答】計画的に整備していく

【質問】

宇治田原町には、常時子どもが遊べる屋内の遊び場は皆無、公園も、小さな児童公園があるだけ。「子ども・子育てニーズ調査」では、自由記述に意見を書いた83人中、実に25人の方が、屋内外の遊び場の確保や充実を求められた。他市町では、児童センターが設置され、教員や保育士資格をもった職員が、それぞれの年齢に応じた遊びや行事を、年間を通じて企

画し、実施しているところもある。

子どもが遊べる屋内の遊び場は皆無、公園も、小さな児童公園があるだけ。「子ども・子育てニーズ調査」では、自由記述に意見を書いた83人中、実に25人の方が、屋内外の遊び場の確保や充実を求められた。他市町では、児童センターが設置され、教員や保育士資格をもった職員が、それぞれの年齢に応じた遊びや行事を、年間を通じて企

画し、実施しているところもある。

【答 弁 (町長)】
公園の設置の要望は、ニーズ調査や、子育て世代のお母さんたちからも直接聞いている。現在策定中の子ども・子育て支援事業計画では、子ども

の遊び場、親子の交流の場としての公園のあり方を検討し、計画的な整備を進めることとしている。今後、若い世帯が住み続けたいと思う街づくりの実現をめざし、計画に沿った取り組みを進めていくことで住民の要望に答えていきたい。



中学校の教室



津幡町児童センター
(石川県)

「新教育長」決意と課題への対応は

【答】学力向上と規範意識の醸成に努める



垣内秋弘
議員

【質問】

増田教育長は、多年にわたった教育現場の経験を活かし、本町の教育改革に取り組み責務を全うしようとしているのか決意を問う。

【質問】

築くことが重要であり、課題解決に努めたい。また、現地・現場主義を貫き自らその場に行き、自分の目で確認・分析・判断を行い教育長としての責務を果たしたいと考えています。

【質問】

教育環境が変化する中で、本町の教育行政における課題をどの様に認識し、具現化していくのか。

【質問】

成、不登校の解消。幼小接続教育。家庭教育の充実。および住民の支援等々、課題解決に向けては教職員員の指導力量を高め意識改革するとともに、中学校教育の課題は、学力の向上と規範意識の醸成と重要と考えている。

【答 弁 (教育長)】

本町の教育への信頼を

27年度予算編成の考え方・重点施策は 【答】住民のニーズを適格に把握

【質問】

平成27年度の予算編成は、第4次まちづく総合計画の最終年、また、国は地方創生を重点課題としているが、西谷カラーを發揮した基本的な考え方、重点施策について問う。

【答 弁 (町長)】

考え方は、健全財政の維持を前提に将来を見据えた取り組みに財源を効果的に活用していきたい。重点施策は、①成長基盤を築く道路交通網の整

備促進②まちの特色を生かした産業・観光振興③暮らしの安心・安全の確保④未来を担う子どもたちの健全育成⑤幸せを実感できる健康・福祉サービス⑥未来の希望

を拓くまちづくりの推進を掲げ、住民のニーズを適格に把握しながら「住んでよかった、すきやねん宇治田原」と言えるまちづくりをめざしてまいります。

【質問】

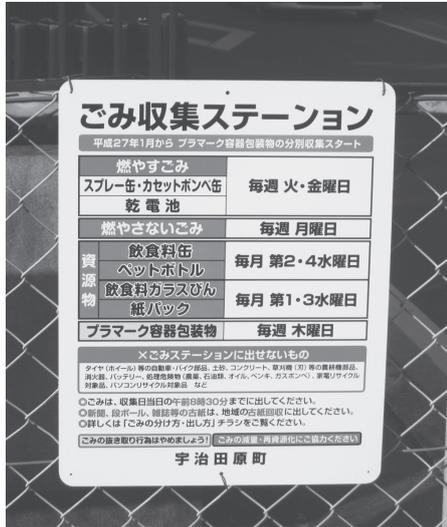
来年一月より一斉に分別収集が始まるが、高齢者を配慮した住民への周知と準備状況は。

【答 弁 (環境課長)】

各区での説明会や、広報紙、新聞折り込み等で周知するとともに、高齢者についてはサロン等で浸透を図っている。

プラマーク分別収集の準備状況は

【答】説明会・広報誌等で周知している



プラマーク新看板



教育委員会会議

子育てコーデイネーターの配置を

【答】利用者支援事業で配置する

【質問】

子育て中の、保護者の悩みや、段階にあった支援をアドバイスし、1人1人にあつた子育てプランを提供する、子育てコーデイネーターの配置について考えは。

【答 弁 (福祉課長)】

地域子ども・子育て支援事業のひとつである、



保育所発表会

利用者支援事業。この実

施に際して専任職員を配置し、総合的な利用者支援を想定しており、コーデイネーター的な役割をと考えている。

【質問】

スムーズに子育てについての支援ができるよう本町の子育て支援が一目でわかる、ガイドのようなものをつくっては。

【答 弁 (福祉課長)】

各種子育てサービスに係る情報を集約し提供するためのツールとしての「子育て情報誌」のような冊子作成を検討している。

補助金申請に郵送システム導入を

【答】課題について検討する

【質問】

高校生バス通学等の補助金の拡充はあるのか。また郵送などの手続きについての考えは。

【答 弁 (教育次長)】

引き続き充実した事業となるよう進める。郵送等による申請手続きも有効と考えるが、チェック方法や不備による再送付など課題を検討していきたい。



山内実貴子 議員

防災訓練、今後の課題は

【答】「避難」をキーワードに取り組む

【質問】

11月に行われた町防災訓練。こういう広域の訓練には対象地域以外の

方にも参加を周知してはどうか。また、成果と今後の課題は何か。

【答 弁 (総務課長)】

今回は、自衛隊車両による移送訓練を取り入れた。関係地区以外の方にも周知をすれば、大勢の方に参加して頂けたかと思う。今後は、難を避ける「避難」をキーワードに、机上訓練や発災対応型訓練も取り入れた

【質問】

町防災訓練など、身にかけての体験を是非、防災教育ととらえ、教育委員会だけでなく総務課・危機管理室を中心に各課の連携のもと検討を。

【答 弁 (総務課長)】

地域ではキッズ防火隊の結成にむけ、各区と連携し、進める。教育委員会や学校と役場職員が連携し、今後も防災教育に努める。



町防災訓練

商工業の補助対策は

【答】新たな支援対策を取組んでいきたい

【質問】

今事業は当該年度で終了するが、小規模応援事業は大変喜ばれており機会を逃した事業者がまだ多数おられ、次回を期待している業者も沢山おり支援対策を継続する必要がある。

加えて地元企業間の経営改善事業取引等に関しては補助金率増加などの強化策ができれば地元事業所のより一層の活性化が図れ、商工業の更なる発展に寄与できると思うが。

【答 弁(町長)】

商工業者の経営改善や、育成を図り活力のある商工業の発展を目指すことと、地元地域資源の活用に関すること等を含めた、事業展開に新たな商工業の支援対策を取り組んでまいりたい。



町内の介護施設

介護保険施設の整備を

【答】整備方針を確立していく

【質問】

アンケート調査やこれまでの介護保険事業計画等作成委員会における議論を踏まえ、どの様な方向性で進めるのか。

【答 弁(健康長寿課長)】

住民の皆さんへの意見募集を行い介護保険施設の整備に係る方針を確立していきたい。



谷口重和
議員

災害復旧の進捗は

【答】間もなく施行される予定

【質問】

河川改修で今尚復旧が見えない箇所があり、土壌などの仮補修箇所は危険度が大である。住民の安心安全の意味からも1日も早い復旧が望まれるが。

【答 弁(建設課長)】

府の事業でも、年内若しくは年明け早々に着工される見込みと聞いており、南地区溝尻橋の復旧工事についても間もなく施行される予定である。



符作川災害復旧

プラマーク分別収集は万全が

【答】啓発と周知に継続して努める



上林 昌三 議員

【質問】
平成27年1月から始まるプラマーク分別収集に向けて今日まで各地域において説明会を実施したり、幾度か広報紙「役場

だより」による啓発、更に町ホームページでも解りやすく説明されているが一層住民の皆さんにリサイクルできる資源ごみとして分別することの

意識付けを定着させるためにも「プラマーク分別収集の啓発」が必要と考えるが、どうか。また、各ゴミ集積所の看板の変更に合わせて看板を活用した啓発も一手法として考えたかどうか。

月から「プラマーク容器包装物」の分別収集が始まる旨の周知や一定の分別方法等を周知できたと考えていますが、高齢者の方への周知や具体的な容器・包装(ごみ)の分別方法の周知については不十分なところもあり、引き続き普及・啓発と意識付け等に、より一層の啓発に努めなければならぬと考えています。

【質問】
今後も啓発が必要と考えるが、他市町の今後の啓発状況をみながら2、3ヶ月程度は試行的になると思われる中、例えば間違った分別搬出をされた場合の取り扱いはどうにか考えているのか。

啓発チラシ

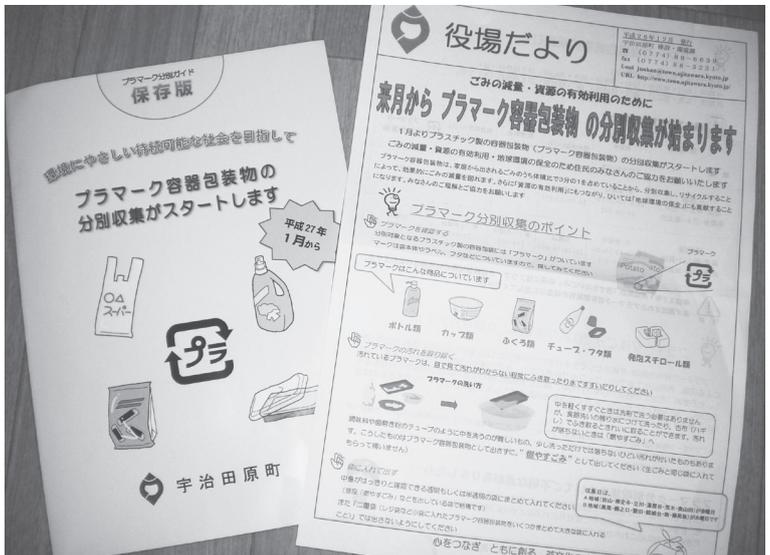


ゴミ収集車

【答 弁 (環境課長)】
平成26年4月から本格的に広報紙や新聞折り込み各区分自治会回覧を通して周知を図るとともに、各区・自治会などにおいて説明会を行い、また、ふるさと祭りなどのイベントでのブース展示、そして個別に説明するなど対応を図ってきたところであるが、平成27年1

月から「プラマーク容器包装物」の分別収集が始まる旨の周知や一定の分別方法等を周知できたと考えていますが、高齢者の方への周知や具体的な容器・包装(ごみ)の分別方法の周知については不十分なところもあり、引き続き普及・啓発と意識付け等に、より一層の啓発に努めなければならぬと考えています。

【答 弁 (環境課長)】
分別できていない場合の収集については、「容器・包装の定義」が複雑で平成27年1月の最初の収集においてきちっと分別搬出することは難しいので、1月2回目の収集くらいまでは汚れているプラマークなど混在しているものもすべて収集、3回目は以降は明らかに異物が混入している場合など、特に目立つものから違反ステッカーを張り、徐々に啓発する。他市町との動きも参考に今後取り組みていく。



山手線(緑苑坂以北)の予定は

【答】用地取得は平成27年度から

【質問】

新名神高速道路と同時に平成35年度の完成に向け、取組みが進められるなか現在の状況、及び今後のスケジュールはどうなっているのか。

【答 弁 (建設課長)】

用地測量調査業務について10月に契約を締結し、現在、事業用地を含む周辺地域を所有者調査や現況測量業務を進めている。今後の予定は境界確定を進め、その後用地取得する土地の面積を明確にして地権者の方々と協議、用地買収へと進めて参りたい。用地取得については平成27年度から。その進捗にもよるが平成28年度後半から工事が着手したい。



北伸が待たされる山手線



奥村房雄
議員



大津市側接続地点

【質問】

禅定寺集落内を通過する大石東線は拡幅工事が完了し、朝夕を中心とした慢性的渋滞は緩和されたが、以前に増して大型貨物車、トレーラーの通行量は多く生活道路への

流入が住民生活を脅かしている。

山手線(緑苑坂以北)

が県道大石東線と接続したら交通の流れはそちらに向き元の安心な生活道路に戻る。山手線(緑苑

坂以北)の完成には県道大石東線との接続が不可欠である。滋賀県側との交渉はすすんでいるのかどうかどうなっているのか。

【答 弁 (建設課長)】

都市計画道路山手線の北伸に対して大津市では京滋バイパス南郷ICから大津市大石曾束地内を通過し県道宇治田原大石東線につながる「大津市道2028号線」を南伸させる計画があり、これが県境付近で本町都市計画道路山手線と接続する予定である。この市道2028号線も本町山手線と同様に新名神高速道路整備にかかる工事用道路としてネクスコ西日本大津事務所が利用されるということであり整備時期等についても同時期になるものと推測される。

高校生通学補助の拡充は

【答】補助金交付内容を検証し良い制度に努める



バス通学の様子



原田周一
議員

【質問】

先般、全額補助を目指す考えに今も変わりがないと答弁。教育長の各家庭負担についての見解は。

【答 弁 (教育長)】

各家庭の負担は、年間相当な額の交通費を負担している事は、教育の充実と安心して通学できる環境づくりを進める上で大きな課題。心痛な思いをしている。

【質問】

実質賃金は16カ月連続で低下している。実質賃金の低下は一般家庭を大きく圧迫している。

平成5年から始まった

通学補助は今日迄拡大されて来たが、実質約40%

程度の補助率であり、60%〜70%程度に引き上げの考えは。

【答 弁 (町長)】

昨年度、補助額を増額した。バス通学によらない通学手段についても補助対象とした。段階的に引き上げ、全額補助を目指したい考えは、変わっていない。財源措置の課題もあり即刻実現は困難。各家庭の経済状況も勘案し内容の検証の上、より良い制度になるよう努める。

禅定寺奥山田線の進捗状況は

【答】新名神竣工にあわせて接続

【質問】

緑苑坂の307号線進入路が通行不能に陥った場合、陸の孤島になる。

【答 弁 (建設課長)】

町道宇治田原山手線は、新名神高速道路の工事用道路として北伸決定

新名神高速道路の工事用道路は数年先には道路としての形が出来上がる。一般向けの供用開始は新名神開通と同時期。

がなされた。緑苑坂の安心・安全面から東への府道の接続が急がれる。進捗状況は。

現状においては、有事の際の避難路は、農道の緊急利用が考えられる。又、工事用道路の前提であるが、臨時的に利用する事も視野に入れている。



緑苑坂

道路ネットワークの構築の観点から新名神竣工にあわせて禅定寺奥山田線と都市計画道路山手線の接続も計画している。

生活道路の交通安全対策強化を

【答】対策会議で検討する。



安本 修
議員

【質問】

町道↓郷之口・湯屋谷線(立川地域を通過)は、国道307の朝・夕の渋滞を避け、かなりの車両が「抜け道」として通過するため、生活道路として地元住民にとつ

て、日常的に危険な状態に置かれている。通行車両は、一時期より減ったものの、ちよつとしたことで、大きな事故にならないか。

A等、安全対策・啓発に取り組んでいただいているが、さらなる強化をどのようにはかつていくのか。

【答 弁(総務課長)】

交通安全は、誰しもの願いであり、この間、国道307では、事故が多発しており、看板を立てるなど、交通安全対策の強化に取り組んでいる。

また国道307から生活道路に流入する車両に対して、定期的な啓発、工業団地管理組合と立川区との独自の対策協を立ち上げるなど、啓発を実施し、交通安全対策に取り組んでいる。



渋滞する307号線



通学路(大道寺)

【質問】

以前に比べれば、通行量は、減っているが、時速50キロを超える車両が多く、事故も発生している。ス

ピード規制をどうはかるのかが、大きな課題となっている。今のままでは、この道はスピードの規制ができないことになる。旧国道307も30キロの規制がなされており、それより狭い生活道路では、30キロ規制ゾーンを検討すべきではないか。町が積極的に取り組んで、地元や公安委員会などに、はたらきかけるべきではないか。

【答 弁(総務課長)】

スピード規制についても検討している。地元区や公安委員会とも連携をすすめ、規制範囲(ゾーン)も協議し、安全対策を強化していく。

山手線の取組みスピードが遅い

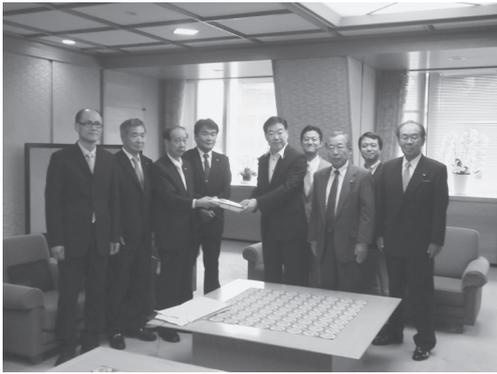
【答】対策会議で検討する。

【質問】

3月に知事への要望活動をいたしました。それから10か月も経っているのに、私が私たちの感覚であるが、行政側は「10か月しか経っていない。」と感じているのではないかと。この感覚のずれが問題である。

【答 弁(町長)】

3月に知事への要望活動をいたしました。住民会議設立の趣旨からして先送りは許されません。検討会議の結論も早い時期に出せるよう、また、山手線を早期着手して頂けるよう粉骨砕身、政治家として命懸けで京都府に働きかけたい。



要望活動(府庁)



農地災害地

災害に強い町づくりを 【答】投資的経費の充実を図る

【質問】

毎年のように地震や集中豪雨などの自然現象によって甚大な被害が全国で発生している。そこで、災害に強い安心・安全な町づくりをめざした投資的経費予算の大幅な



稲石 義一
議員

増額を求めるものであり。とりわけ、河川の護岸や老朽化した溜池整備、がけ地崩壊・地すべり危険箇所等山地防災及び農地防災が喫緊の課題となっているが。

【答 弁(町長)】

将来に向けて必要ない

ンフラ整備を進める時期に来ていたとの認識から、投資的経費の充実を図ると共に、予算編成に当たっても、河川や道路、山林などに関する防災減災の観点からの事業も進めて参ります。

健康寿命の延伸対策は

【答】府内トップ10入りをめざす

【質問】

本町では、平均寿命が京都府の中で最下位にあるにも拘らず、『健康長寿日本一をめざして』と夢のような目標掲げている。今般、京都府では今後5年間で健康寿命を1歳延伸し全国トップ10入りをめざすとされました。そこで、本町も健康寿命の目標を実現可能なものに改め、府内トップ

10入りをめざすとされたら如何か。

【答 弁(町長)】

京都府の5年間で健康寿命を1歳引き上げるとの方針と連動し、本町でもまずは府内トップ10入りをめざし、これを実現した後は更なる上位をめざして参ります。

総務産業常任委員会研修報告

岐阜県白川町

白川町は本町の4倍の面積を有し、人口は9,200人とやや少なく、起伏にとんだ地形で特産の産業とするが近年、町



白川町 道の駅

とする「美濃白川茶」も高地でもある為、玉露の生産は出来ず、お茶を町の産業とするが近年、町

岐阜県池田町

池田町は人口約25,000人で幾つもの村を合併し昭和29年町政施行、その後も村と合併して今日に至っており、大垣市へは15分の位置にある。

を高速道路が通つてからは観光客が素通りしてしまい、道の駅「美濃白川ピアチュール」の客や、併設されている温泉の利用者も年々減少の一途で施設の収支も赤字であるとのことである。一方、産業の一つとして「白川ハム」の製造販売についても同様、採算ベースにのっていない。

防災に対する町の取組は防災行政無線(同報系)、個別受信機(有線スピーカー)が町内50ヶ所にわたって整備されるなど非常にきめ細かく速やかな連絡網の体制が充実していて防災備蓄倉庫も町内10ヶ所にコンテナを利用、各々に避難所が必要な水の他、いろいろストックされている。

災害時における避難勧告



池田町庁前にて

総務産業常任委員会は平成26年11月13日～14日にかけて岐阜県白川町へ「茶業・観光振興対策」に関して、また、同県池田町へは「防災対策」について研修を実施した。

の指示、住民への周知方法、防災行政無線地図表示盤により、一目で現場が解る設備等、危機管理面において教わるどころが多かった。

本町においても今後、「有線放送」を利用した住民への情報の徹底というやり方を検討する必要がある。

文教厚生常任委員会研修報告

文教厚生常任委員会は、平成26年11月4日～5日にかけて富山県魚津市へ「少子化対策」について、また石川県津幡町へは「生涯学習」について研修を実施した。

富山県魚津市

☆魚津こうのとりの里

プロジェクト事業

○市民団体や学校・PTA、市内企業の参画で、「出会い・結婚・出産・子育て」についてのユニークな事業が、若手職員により、展開されている。

○若者の結婚意識醸成と



ひばり児童センター

意欲向上へ、結婚観インタビューや若手社員交流また、上司の啓発研修会を開催。結婚式コンテストなども実施。

○10代と赤ちゃん出合い事業では、小中学生が家族のよさを実感。町全体に、妊娠・育児への理解アップのための意識啓発を図っている。

☆ひばり児童センター

親子教室や小学3年生までの放課後学童保育を行う。高校生までが対象で、室内スポーツや遊戯施設も確保されている。

○運営は市社会福祉協議会に委託、教員免許や保育士資格を持った職員が携わる。

●本町にとっても少子化対策は喫緊の課題である。魚津市の取り組みを参考事例とし、特色を活かした施策を創出したい。

○運営は市社会福祉協議会に委託、教員免許や保育士資格を持った職員が携わる。

石川県津幡町

☆「だれでも、いつでも、気軽に学べ、学びの成果が活かされるまちづくり」が生涯学習の基本理念。

○放課後子ども教室や、教育講座など公民館を中心に行う。毎年、年間事業の結果をまとめ「津幡町の生涯学習」冊子として発刊している。

○全国選抜社会人相撲選手権大会(毎年)、レガッタ競漕大会など、全国規模の大会開催への環境整備にも力を入れる。

○町民大学講座では、取得単位により、学士・修士・博士号が取得できる。

○小学生国内派遣研修や、文化芸術活動・体験活動を通じた幼少期からの情操教育にも取り組む。

☆津幡町文化会館・シグナス



シグナス室内ホール

○生涯学習センターとして、図書館・児童センター・ホールなどがある。野外では、夏は水遊び、冬は雪遊びもできる。

○図書館は、2階構造で学習コーナー、読書スペースも充実。おはなしの部屋も確保されている。

●1校区1公民館に基づく地区公民館における取り組みは、企画に創意工夫がある。さらに、幼児期から町への愛着心を培うことや国際交流への関心を高めることの重要性を改めて認識した。

○小学生国内派遣研修や、文化芸術活動・体験活動を通じた幼少期からの情操教育にも取り組む。

☆津幡町文化会館・シグナス

こばやし てつ や 小林 哲也 さん



*新成人を迎えた、小林哲也さんにインタビューをしました。

問) 成人式を迎えての感想は

答) 久しぶりに仲間たちと再会することに喜びと懐かしさを覚えつつ、大人になるという第一歩を踏み出したことを少しずつですが噛み締めています。

問) 夢または将来挑戦したいこと

答) 最近、興味があるのが経営学と経営戦略です。なので、将来、様々なことに挑戦し、それが経営者への道に繋がれば楽しいのではと考えています。

問) 趣味は

答) 趣味は料理と映画鑑賞です。1人暮らしを始めるようになって、料理が趣味になりました。

問) 選挙権を与えられたが感想は

答) 昨年4月に行われた知事選挙に初めて有権者として参加しました。選挙に行った時に、社会人の一員になったんだ、大人になったんだと実感しました。選挙権を与えられることは成人したということの1番実感できることだと思いました。

問) 宇治田原町に望むことは(思いは)

答) 少子化に伴い宇治田原町も子供が減ってきています。お茶を宇治田原の特産品として、今よりさらに力を入れて売り出し、宇治田原町の名を有名にし、より住みやすい町をつくり、多くの人に住んでもらえるようにする。そうすれば、子供も増え、再び活気のある町になるはずなので、このような町づくりをして欲しいです。





宇治田原町議会

第2回議会報告会

第1部 議会報告

平成26年9月・12月議会について
各委員会（総務産業常任委員会・文教厚生常任委員会、
決算特別委員会）からの報告を中心に行います。

第2部 意見交換

テーマ ①新庁舎建設について
②宇治田原山手線について
③子ども・子育て関連について

各テーマに沿って、意見交換をおこないます。
この機会に、皆様の“声”をお聞かせください。



日時：平成27年2月15日（日）
午後2時～3時30分

場所：維孝館中学校和みホール

主催：宇治田原町議会

今号の表紙

出初式のフィナーレは一斉カラー放水。新たな年を迎え防火・防災を願った。

編集後記

厳しい寒さの折、大雪での年明けとなりました。

キツと気を引き締め、体調には十分気を付けていきたいと思えます。

昨年11月に役選があり、今号より新メンバーでの編集となります。さらにわかりやすい議会だよりとなるよう努力していきます。ご意見・ご感想をお寄せ下さい。

広報編集委員長 山内

